

済生会横浜市東部病院 人材開発センター
認定看護師教育課程（小児プライマリケア分野）
入学試験問題（一部公開 ～2026/9/25 まで）

※設問文の著作権は本教育課程に帰属します。無断での転載・改変・再配布はご遠慮ください。
※出題形式は年度により変更する場合があります。

・2024 年度 小論文

【設問】

健康課題を持つ子どもの成長発達への支援における看護の役割を、これまでの経験を踏まえて 800 字以内で述べなさい

・2025 年度 小論文

【設問】

健康課題を持つ子どもの支援における多職種連携について、これまでの経験を交えて 800 字以内で記述しなさい

・2026 年度 小論文

以下の文を読み、設問に答えなさい

<著作権の都合上、課題文は掲載していません>

【設問1】上記の文章を 200 文字以内に要約しなさい

【設問2】上記の文章を踏まえ、小児医療における意思決定とその支援に関するあなたの考えを、これまでの看護実践の経験を含め 600 字程度で述べなさい。

2024 年度

済生会横浜市東部病院人材開発センター

認定看護師教育課程 小児プライマリケア分野

専門科目

《問題用紙》

2023 年 10 月 28 日（土）

9：30～10：30（60 分）

問題用紙のページ数を確認してください

・問題用紙 13 ページ

※受験番号を表紙の右上に記入してください

※試験終了後、問題用紙は全て回収いたします

解答はすべて解答用紙に記入してください

問1 「児童の権利に関する条約(子どもの権利条約)」の基本的な考えを示す 4 つの原則に含まれないものを選びなさい

1. 子どもの最善の利益
2. 生命、生存及び発達に対する権利
3. 親との分離の禁止
4. 差別の禁止

問2 医療を受ける子どもの意思決定について適切な選択肢を選びなさい

1. インフォームドアセントは、インフォームドコンセント同様に法的な強制力を持つ
2. インフォームドアセントは、言葉による説明が理解できる年齢から実施が可能である
3. インフォームドコンセントの対象者には、説明を理解する能力、選択する能力、決定する能力、決定に対して責任をとる能力の4つの能力が備わっていることが条件である
4. インフォームドアセントは、自分になされる行為について理解できるように説明され、同意することである

問3 正常発達の4歳児が、採血を受ける際のプレパレーションとして最も適切な選択肢を選びなさい

1. 幼児後期であり、処置前の説明時に親は同席せず、子どものみで実施したほうが子どもは集中して話を聞くことができる
2. 処置中のディストラクションは子どもが好きそうな方法を医療者が決めておく方がよい
3. ディストラクションを実施することで、痛みの閾値を上げることができる
4. 処置中に子どもが「それ何?」と不安そうな表情で聞いてきたら、「大丈夫だよ」と安心させる言葉をかける

問4 以下の場面の看護師の状況について、適切な倫理的課題を選択肢より選びなさい

入院中のAちゃん(3歳)は、採血の処置を朝に受けていた。看護師に「今日採血頑張ったの。お人形さんで採血ごっこして遊びたい」と話した。看護師はAちゃんが採血を再現して振り返ることができることは大切な援助だと考えたが、その日は手術の患者さんや化学療法の患者さんも受け持っており、他の患者さんのケアを優先する必要があった。その結果、Aちゃんへの援助は最後になってしまった。これでよかったのか看護師は迷いを抱いている。

1. 倫理的葛藤
2. 道徳的苦悩
3. 倫理的不確かさ
4. 倫理的課題はない

問5 ピアジェの認知発達理論について適切な選択肢を選びなさい

- a. 具体的操作位相は、目の前にあるものに触れたり、握る/離すなど具体的で実験的な活動を行い、それらを繰り返すことで周囲の認識を深めていく発達段階である
- b. 植物や自分の大事なぬいぐるみなどすべての物には命があり、動くことができるという感覚で思考するのは感覚運動位相の特徴である
- c. 多くの物事がそれによって説明できるという法則や論理などを使って、演繹的に推理をすることで認識していくのは、形式的操作位相である
- d. 他者からの視点を理解することが難しく、自分が見えるものを中心に認識する特徴がある時期は前操作的位相の前概念位相である
- e. 具体的操作位相では、思考の発達は部分の理解にとどまるため、保存の概念がまだない

1. a, b 2. a, d 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問6 子どもの神経系の発達について適切な選択肢を選びなさい

1. 非対称性緊張性頸反射は出生時からみられ、お座りをする生後7か月頃に消失する
2. ランドー反射は、仰臥位で後頭部を支えておいて急に下げた時に上肢を伸展して外転し、次いで抱きしめようとするような動作をする反射であり、生後3-4か月で消失する
3. 自動歩行反射は歩行開始前の生後12か月頃に出現する
4. 生後7か月以降に出現する、パラシュート反射は生涯続く反射である

問7 子どもの身体の発育と機能の発達について適切な選択肢を選びなさい

1. 乳幼児の発育を評価するカウプ指数は生後 1 か月から 5 歳までの判定ができる
2. 各免疫グロブリンが成人レベルに達するのは 3 歳頃であり、感染症への罹患が減る
3. 子どもの視野は成人より狭く、6 歳の垂直方向は成人の約半分である
4. 第二性徴は一定の順序があり、女子は初経後に乳房の発育や陰毛発生が開始する

問8 次の月年齢の一般的発達で、誤っている組み合わせはどれか

1. 生後 3~4 か月-----定頸、喃語、全方向追視、社会的微笑
2. 生後 6~7 か月-----目と手の協調、分離不安、他者の発声模倣、離乳食開始
3. 1 歳 6 か月ごろ-----一人歩き、一語文、離乳食完了、嫉妬の感情が見られる
4. 3 歳頃-----手を使わず一人で階段を上る、丸を描く、ごっこ遊びが盛ん、語彙が急速に増える

問9 子どもの生活習慣について適切な選択肢を選びなさい

1. 味覚は出生時ではなく生後 5~6 か月頃から発生するため、その時期が離乳食開始に相当である
2. サーカディアンリズムに関連するメラトニン生後 3 か月頃から子ども自身で産生される
3. 尿意や便意は脊髄の髄鞘化がすすむことで、1 歳半頃には橋にある排尿中枢で知覚が可能になる
4. 幼児が一人で歯磨きをする様子がみられるようになったら、仕上げ磨きは子どもの自律心を損なわないために行わない方が良い

問10 エリクソンの自我発達理論について誤っている選択肢を選びなさい

1. 基本的信頼感は1歳頃までに構築される周囲の世界に対する態度であり、自己の信頼や自己の肯定と関連する
2. 幼児前期は、自分で身体をコントロールする体験を積み重ねて自律感を獲得し、自分の意志や存在を発見していく時期である
3. 学童期は他者と比べて劣っていることに劣等感を抱く時期のため、子どもができそうにないことは避けられるよう環境を調整する
4. 思春期は「自分とは何者か」という社会的な葛藤を持ちながら自我同一性を獲得する時期であり、第二性徴の身体的成熟とも関連している

問11 家族をアセスメントする視点について適切な選択肢を選びなさい

- a. 家族システム理論では、家族という集団には全体性・非累積性・恒常性・閉鎖的因果関係・組織性の5つの特性があるとしている
- b. 学齢前期の子どもをもつ家族の発達課題には、子どもの社会化や親子関係の変化への適応と再調整があげられる
- c. 子どもの疾病により母親と病児のサブシステムが母親と他の家族成員間のサブシステムより強固になった場合、家族内での孤立が生じるリスクが高い
- d. 家族がもつ力をアセスメントし、家族に不足していることを医療者が補うことで健康的な生活が実現できることをエンパワメントという

1. a, b 2. b, c 3. b, d 4. a, d

問12 子どもの発達段階別の遊びの特徴とその援助について適切な選択肢を選びなさい

- 1. 幼児期から見られるようになる構成遊びは、あるものを他のもので表すなどの方法を使ったごっこ遊びや見立て遊びのことである
- 2. 連合遊びは、幼児後期以降に他の子どもとやり取りするなど集団で組織だった遊びをすることである
- 3. 受容遊びとは主に乳児早期に見られ、周囲の働きかけに受け身的に遊ぶことである
- 4. 傍観遊びとは他の子どもが遊ぶ様子を見て楽しむ遊びで、2歳頃によくみられる

問13 病気や障がい子どもにわかったときの、親の心理的反応としてドロター（Drotar,D.）の考え方があ。次の文章で適切なものはどれか

- a. 特に先天奇形のある子どもが誕生した時の両親の心理的反応の経過を示したもので、ショック、否認、悲しみと怒り、適応、再起の5段階で示している
- b. 適応の段階では、情動的な混乱は無くなり、子どもの世話に自信をもつようになる
- c. 再起の段階では、家族は子どもの問題に対する責任に対処できるようになる時期であり、どの親も行きつく過程である
- d. 親の心理的反応の強さはそれぞれの段階によって異なる

1. a, d 2. a, c 3. b, d 4. c, d

問14 児童虐待について誤っている選択肢を選びなさい

- a. 虐待を判断する時には、子どもにとって有害であるか、また親が虐待を意図していたかを考慮する
- b. ネグレクトには子どもの目の前で配偶者やその他の家族に暴力をふるうことが含まれる
- c. 虐待による長期的な影響には IQ の低下や学習障害がある
- d. 虐待を受けた子どもの発育不全では、発育曲線で身長と体重のパーセンタイルが顕著に違う、階段をのぼるようにぎざぎざした曲線となることがある

1. a, b 2. a, c 3. b, c 4. c, d

問15 子どもに関連する法律で誤っている組み合わせを選びなさい

- 1. 母子保健法-----1 歳 6 か月児健診
- 2. 児童福祉法-----養育支援訪問事業
- 3. 児童福祉法-----児童相談所の設置
- 4. 児童虐待等の防止に関する法律-----要保護児童対策協議会の努力義務
- 5. 児童福祉法-----小児慢性特定疾病医療支援

問16 市町村における子育て支援施策および母子保健施策について適切な選択肢を選びなさい

- 1. 乳児家庭全戸訪問事業は乳児家庭の孤立を防ぐことを目的に、生後 8 か月を迎えるまでの乳児のいるすべての家庭を訪問することである
- 2. 未熟児養育医療では出生時体重が 2000g 以下の乳児または生活力が特に弱い乳児の入院養育に対して必要な医療の費用が一部公費負担される
- 3. 家庭的保育事業は保育士資格を持つ者が居宅等で保育をする事業である
- 4. 養育支援訪問事業は虐待リスクなどがあり養育支援が必要と判断された家庭へ指導・助言を行うことであり、保健師のみが実施可能である

問17 子育てに関連した事業について適切な選択肢を選びなさい

- 1. 子育て世代包括支援センターの設置は児童福祉法で努力義務である
- 2. 子育て世代包括支援センターは妊娠期からの支援であり、妊娠前は対象ではない
- 3. 子ども家庭総合支援拠点は、地域のリソースや必要なサービスと有機的につないでいくソーシャルワークを中心とした機能を担う
- 4. 子ども家庭総合支援拠点の設置主体は都道府県である（一部委託は可）

問18 ヘルスプロモーションについて適切な選択肢を選びなさい

1. WHOにより1986年にオタワ憲章で提唱され、一人一人の健康を向上させるために、個人への指導や教育を充実させることが重要であるという考え方である
2. 戦略の一つである「提唱(advocate)」は、人々の健康に関わる知識・態度を変化させていく力を政策・財政・社会環境などのシステムから働きかけていくことを意図している
3. 子どもは発達途上であり、自らの健康をコントロールすることはできないため、大人がすべてコントロールすることが必要である
4. 生きる目的として健康を位置付けている

問19 小児のプライマリケアを取り巻く現状について、誤っている選択肢はどれか

1. 2022年の合計特殊出生率は、前年度より低下している
2. わが国の周産期死亡率は、出産1000対3.2人(2020年)であり、先進国の中でも低い
3. 幼稚園、小・中・高等学校に在籍する医療的ケア児の数は増加している
4. わが国の相対的貧困率は、OECD加盟34か国中에서도低い
5. アレルギー疾患等の健康障害を抱えて成人期まで移行する家庭で養育が必要な小児が増加している

問20 子どもの心身の健康に関する現状について適切な選択肢を選びなさい

1. 2021年度の学校保健統計によると、小学6年生の約4分の1が裸眼視力1.0未満であり、年々増加していることから、テレビやタブレット視聴時間への指導が必要である
2. 2021年度の学校保健統計によると、肥満の児童は女児が多く、8歳以降の肥満の割合は1割を超えている
3. 2021年度の学校保健統計によると、児童・生徒のう歯の保有率は年々微増しており、フッ素塗布など幼児期からの歯の保健指導の介入が必要である
4. 2021年の全国調査では、子ども自身が世話をしている家族がいると答えた中学2年生は約5%おり、教育・福祉・医療・介護で連携した支援が必要とされている

問21 新生児の生理的機能と評価について適切な選択肢を選びなさい

1. 生理的黄疸は、新生児期にはヘモグロビン F を含む胎児型赤血球の溶血や腸肝循環が亢進していることにより非抱合ビリルビンが血中に蓄積することで生じる
2. 出生後は肺血流量が増加することで動脈管は数分で機能的に閉鎖する
3. 出生時の新生児を評価するアプガースコアは、心拍数・呼吸・筋緊張・反射・皮膚の色を 0-5 点で評価し、5 点以下は重症の仮死である
4. 免疫グロブリンのうち、IgM は胎盤經由で母体から移行され、新生児期から乳児早期の感染制御に重要な役割を果たす

問22 乳児の呼吸機能の特徴について誤っている選択肢を選びなさい

- a. 生後 4-5 か月ごろまで主に鼻呼吸であり、鼻汁などの分泌物による閉塞をきたしやすい
- b. 肋骨が水平であり、胸郭の断面は円筒状であるため胸郭の収縮効率が悪い
- c. 乳児の肺胞数は成人と同数であるが、肺胞表面積が小さいことから 1 回換気量が少ない
- d. 側副換気路が多いことから、肺胞間で感染症が広がりやすい

1. a, c 2. b, c 3. b, d 4. c, d

問23 身体計測およびバイタルサイン測定について誤っている選択肢を選びなさい

- a. 仰臥位での身長測定時には、子どもの耳孔と台板が垂直になるように固定する
- b. 胸囲は乳頭直上部と肩甲骨直上部を確認し、呼気終了時のタイミングを測定する
- c. 聴診器による心拍測定では、音が確認しやすい大動脈弁領域で聴診することが多い
- d. 鼓膜温の測定は耳介を後方上に引っ張り、外耳道を一直線にしてプローブを耳に入れる
- e. 血圧測定に使用するマンシェットが適切な幅よりも狭いと収縮期血圧・拡張期血圧ともに上昇する

1. a, c 2. b, c 3. c, d 4. a, d 5. b, e

問24 子どもの消化器について適切な選択肢を選びなさい

1. 乳児の胃は成人より垂直で球形に近い形であり、幽門部括約筋が未発達なため溢乳しやすい
2. 生後 5～6 か月頃までは乳児嚥下であり、呼吸しながら乳汁を吸啜し、乳汁が口腔に入ると舌と軟口蓋が離れ嚥下する
3. 乳幼児の身長に対する腸の長さは成人に比べ短いため、消化吸収能が低い
4. 子どもは腹部触診で各臓器が容易に触れるため、触診は深い触診から浅い触診へと優しく丁寧に行う

【以下事例を読み、問 25, 26 に答えなさい】

B 君、0 歳 4 か月男児。これまでの健康歴に問題はない。3 歳の同胞が 1 週間前より軽い感冒症状があった。B 君は 2 日前より鼻汁・咳嗽が多く、ミルクの飲みも悪くなっていた。本日の朝方より 38.0 度の発熱があり、機嫌も悪く、呼吸がゼーゼー苦しそうと母親が受診に連れてきた。ミルクは昨夕からほとんど飲めていない。来院時の体温 38.5 度、心拍数 162 回/分、呼吸数 60 回/分 SPO₂98%であり、肋骨弓下と肋間の陥没呼吸を認めた。また高調性連続性副雑音が聴取され、呼気延長がみられた。

問25 B 君の呼吸状態から考えうることを以下より選びなさい

1. 呼気延長がみられており、上気道異物が疑われる
2. 高調性連続性副雑音が聴取されており、肺胞内の分泌物の貯留が疑われる
3. 陥没呼吸と多呼吸を認めており、呼吸不全の状態が疑われる
4. 発症から 3 日程度遅れての喘鳴の出現であり、急性の細気管支炎の状態が疑われる

問26 診察の優先度を判断するために、B くんの母親から聴取する内容として優先度が低い選択肢を選びなさい

1. 最後にミルクを飲んだ時間
2. 家族構成
3. 既往歴
4. アレルギーの有無
5. 排尿・排便の状況

問27 子どもの予防接種について適切な選択肢を選びなさい

1. ロタウイルスワクチンは経口の不活化ワクチンである
2. 不活化ワクチンと生ワクチンの間は 27 日以上間隔をあけなくてはいけない
3. ヒトパピローマウイルスワクチンは定期接種に含まれる
4. BCG の投与方法は皮下投与である

問28 子どものよくある病気に対するホームケア指導として適切な内容を選びなさい

1. 高熱は子どもの脳神経に影響を及ぼすことから、38.5 度を超えた場合は解熱剤を積極的に使うよう指導する
2. 乳児の急性胃腸炎では、母乳はやめ、ミルクを薄めて飲ませるよう伝える
3. アトピー性皮膚炎の軟膏塗布はフィンガーチップユニットという単位で指導をする
4. 伝染性紅斑と診断された場合、発疹が出ている間はウイルスを排出しているため、登園や登校しないよう指導する

問29 子どもの死因について適切な選択肢の組み合わせを選びなさい

- a. 令和4年の人口動態統計では、1-4 歳、5-9 歳の死因の第二位は不慮の事故である
- b. 0 歳児の不慮の事故の中で最も多いのは、食べ物による窒息である
- c. 1-14 歳の不慮の事故の中で最も多いのはどの年齢も交通事故である
- d. 令和4年の人口動態統計では、10-14 歳、10-15 歳の死因の第一位は自殺である

1. a, b 2. a, d 3. b, c 4. c, d

問30 小児の救急医療におけるトリアージの目的で誤っている選択肢を選びなさい

1. 生命を脅かす病態にある患者を迅速に見極める
2. 現時点の問題から臨床推論を行い、診断を行う
3. 適切な加療場所へ誘導する
4. 診察を待っている子どもの再評価と必要な看護介入の実践をする

問31 JRC 蘇生ガイドライン(2020)が示す小児一次救命処置について適切な組み合わせを選びなさい

- a. 乳児の脈拍の確認は頸動脈で行う
- b. 救助者が一人の場合、子どもの心肺蘇生は胸骨圧迫と換気を 30:2 で実施する
- c. 胸骨圧迫は胸の厚さ 2/3 の深さで押す
- d. 傷病児の呼吸・脈拍の確認は 15 秒以内で行う
- e. AED の小さいサイズのパッドは、未就学児までを目安として使用する

1. a, b 2. a, d 3. b, c 4. b, e 5. c, d 6. d, e

問32 家族のセルフケア能力のアセスメントとアプローチについて適切な選択肢を選びなさい

- 1. 家族のセルフケアは、情緒的体制を基盤とし、家族成員が持てる力を発揮しながら、個々・家族全体として互いに補いあいながら行われる
- 2. 健康問題が生じた子どものいる家族に対して、看護者が必要な知識と技術を提供し、家族成員がそれらを身につけることで家族のセルフケア能力が発揮される
- 3. 家族のセルフケア能力のアセスメントでは、家族成員個々ではなく家族システム全体から捉え、アプローチの方向を定めていく
- 4. 家族内に健康問題が生じているときには、生活様式などの変容が必要であり、家族全体で新たな生活様式とその価値を受けて入れていけるよう指導をしていく

問33 2021 年に施行された「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」について適切な選択肢を選びなさい

- 1. 対象となる子どもは学校に在籍する小学生以上であり、保育所や認定こども園に在籍する子どもは対象外である
- 2. 医療的ケア児でなくなった場合(医療的ケアを必要としなくなった場合)は、支援の対象から外れる
- 3. 国・地方公共団体の責務の一つは、医療的ケア児とその家族も含めた日常生活における支援を実施することである
- 4. 学校に看護師を配置することは、学校の設置者の責務ではない

問34 胃ろうの管理について適切な選択肢を選びなさい

1. バルーンタイプ、バンパータイプともに入れ替え時の苦痛は少ない
2. 幽門部近くに造設すると、ダンピング症候群が起きやすくなる
3. 計画外抜去時でも瘻孔は開存状態を維持しやすい
4. 胃ろう周囲の皮膚トラブルが生じにくいいため、管理がしやすい

問35 吸引の手技について適切な選択肢を選びなさい

1. 小児の気管内吸引の吸引時間は1回につき5～10秒以内が望ましいが、取り切れない場合は時間をかけて気管カニューレ内の痰をなるべく1回で吸引する
2. 鼻腔吸引では、鼻中隔の後方部にあるキーゼルバツハ部位を刺激すると鼻出血する危険があるため、挿入時に注意をする
3. 気管内吸引では気管分岐部にあたるまで吸引チューブを挿入する
4. 気管内吸引のカテーテルのサイズは気管チューブ内径の2分の1以下が推奨されている

【以下の事例を読み、問36, 37に答えなさい】

C君は在胎24週に体重650gの極低出生体重児として出生した。新生児仮死のため、NICUに入室し、人工呼吸器管理が行われた。生命の危機は脱したが、低酸素脳症となり人工呼吸器からの離脱は困難である。嚥下障害もあり、経鼻胃管栄養が行われている。生後8か月で気管切開をし、自宅に帰ることが可能な状態になった。家族は両親と兄3歳とC君であり、父親は仕事で多忙である。母親は兄の世話もあることから、面会は週に1～2回程度である。

問36 C君とその家族への支援として誤っている選択肢を選びなさい

1. 自宅に帰るためには、まず気管内吸引や注入の手技の獲得が必要と説明し、指導を始める
2. 気管切開によりC君はこれまでより体動の制限が緩和されることから、C君の安全と発達を踏まえたベッド環境を整える
3. 医師、看護師と家族で面談を行い、C君が家庭で過ごすことができる状態であることをしっかりと説明する機会を持つ
4. C君のオムツ交換や入浴など家族が参加できそうなケアを一緒に行うことを提案する

問37 C君が自宅に帰ることになった場合、必要な災害対策について適切な選択肢を選びなさい

1. 停電時は安定したところからの電源確保を優先する必要がある、まずは発電機を購入する
2. 災害に備え、栄養剤や薬は7～10日分確保しておく
3. 医療依存度が高いため、災害時には自助・互助よりも、共助・公助に頼るようにする
4. 乳児であることから、災害時の個別避難計画作成の対象とならない

問38 医療的ケア児に適応できる障害福祉サービスのうち適切な選択肢を選びなさい

- a. 介護保険の申請が可能である
- b. 医療型児童発達支援では日常生活における支援は行うが治療は行わない
- c. 相談支援専門員は本人(家族)の依頼に基づいてサービス利用計画書を作成する
- d. 幼稚園生は放課後等デイサービスを利用できない
- e. 障害児通所支援に保育所等訪問支援は含まれない

1. a, b 2. b, d 3. c, d 4. c, e 5. d, e

問39 医療的ケア児等の診療報酬に関して適切な選択肢を選びなさい

1. 医療的ケア児は準・超重症児と同様に3回/週まで長時間の訪問看護を受けることが可能である
2. 訪問看護情報提供療養費が加算される提供先は、義務教育諸学校(小学校、中学校や特別支援学校等)であり、保育所は含まれない
3. 在宅人工呼吸器管理において、3歳未満は乳幼児呼吸管理材料が加算される
4. 退院共同指導料は、在宅療養を担う医療機関と入院中の医療機関の医師、看護師等が共同指導する場合に評価されるが、指導するのは医師・看護師に限る

問40 以下の事例を読み、適切な選択肢を選びなさい

常位胎盤早期剥離により重症新生児仮死、低酸素性虚血脳症で出生した A ちゃん。生後 7 か月で自宅へ退院し、現在 1 歳6か月である。自発呼吸は弱く、気管切開を行い人工呼吸器管理、嚥下不能のため経鼻経管栄養を行っている。体動は刺激による四肢体幹の筋緊張の亢進のみである。

Aちゃんが制度上利用できる社会資源について適切なものはどれか

- a. 児童発達支援
- b. 訪問看護
- c. 放課後等デイサービス
- d. 医療型短期入所
- e. 保育所

1. a, b 2. a, b, d 3. b, c, d, e 4. a, b, d, e 5. b, d, e

問41 以下の事例を読み、入院初日のさとりくんと家族のアセスメントを記述し、さとりくんと家族の支援が必要な課題を記述しなさい

さとりくんは2歳2カ月の男児で、これまでの健康歴に問題はなかった。

「変な咳をして苦しそう」と母親が21時ごろ救急外来を受診した。犬吠様咳嗽、吸気性喘鳴、胸骨上窩陥没呼吸が認められ、クループの中等症と診断された。アドレナリン吸入とステロイド投与のため入院となった。入院翌朝のバイタルサインは、体温 39.5 度、呼吸回数 36 回/分、脈拍 150 回/分であり、努力呼吸、吸気性喘鳴は持続していた。酸素飽和度はルームエアーで 93%である。さとりくんは医療者を見るだけで大泣きし、吸気性喘鳴が悪化していた。母親にしがみつき離れず、母親が抱っこして過ごしていた。「吸入をすごく嫌がって、口にもっていくと反り返っていやがるんです。ゼーゼーも咳もよくならないし・・・」と母親は疲労した様子で話した。

2025 年度

済生会横浜市東部病院人材開発センター

認定看護師教育課程 小児プライマリケア分野

専門科目

《問題用紙》

2024 年 10 月 26 日（土）

9：30～11：00（90 分）

問題用紙のページ数を確認してください

・問題用紙 15 ページ

※受験番号を表紙の右上に記入してください

※試験終了後、問題用紙は全て回収いたします

解答はすべて解答用紙に記入してください

問1 「児童の権利に関する条約（子どもの権利条約）」について、記載内容が適切な選択肢を選びなさい

- a. こどもの権利を保障することが望まれるが、義務ではない
- b. こどもは権利を享受し行使する主体者である
- c. こどもが自らの意見を表明することをこどもの義務としている
- d. 批准した国のこどもに限った権利の保障を明記している
- e. 条約におけるこどもとは、18歳未満のこどもである

1. a, b 2. a, c 3. b, d 4. b, e 5. c, e

問2 医療を受けるこどもの意思決定について、記載内容が適切な選択肢を選びなさい

- 1. インフォームドアセントは、インフォームドコンセント同様に法的な強制力を持つ
- 2. インフォームドアセントは、言葉による説明が理解できる年齢から実施が可能である
- 3. インフォームドコンセントの対象者には、説明を理解する能力、選択する能力、決定する能力、決定に対して責任をとる能力の4つの能力が備わっていることが条件である
- 4. インフォームドアセントは、自分になされる行為について理解できるように説明され、同意することである

問3 プレパレーションについて、記載内容が適切な選択肢を選びなさい

- 1. こどもの恐怖心を助長しないため、痛みや冷たさなどの感覚はできるだけ事前に伝えない
- 2. プレパレーションの過程ではこどもが「いやだ」など負の感情を抑えられるようにする
- 3. プレパレーションの過程では、こどものみならず保護者も加わることを望ましい
- 4. 処置や手術までの一連の流れを説明するオリエンテーションと同じである

問4 以下の場面の看護師の状況について、適切な倫理的課題を選択肢より選びなさい

予防接種に来院した6歳 A くん。母親から「注射って言うと怖がるから言っていない。言ってもどうせ暴れるから抑えてやってください」と言われた。A くんは「今日、ちっくんしないよね?」と母親に聞いている。看護師は説明が必要なことを母親に伝えたが同意が得られず、抑えての処置となった。A くんは「ちっくんしないって言ったのに」と怒っている。

1. 倫理的葛藤
2. 道徳的苦悩
3. 倫理的不確かさ
4. 倫理的課題はない

問5 ピアジェの認知発達理論について、記載内容が適切な選択肢を選びなさい

- a. 具体的操作位相は、目の前にあるものに触れたり、握る/離すなど具体的で実験的な活動を行い、それらを繰り返すことで周囲の認識を深めていく発達段階である
- b. 植物や自分の大事なぬいぐるみなどすべての物には命があり、動くことができるという感覚で思考するのは感覚運動位相の特徴である
- c. 多くの物事がそれによって説明できるという法則や論理などを使って、演繹的に推理をすることで認識していくのは、形式的操作位相である
- d. 他者からの視点を理解することが難しく、自分が見えるものを中心に認識する特徴がある時期は前操作的位相の前概念位相である
- e. 具体的操作位相では、思考の発達は部分の理解にとどまるため、保存の概念がまだない

1. a, b 2. a, d 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問6 以下の反射と観察可能な月齢の組み合わせのうち、不適切な選択肢を選びなさい

1. パラシュート反射-----3歳
2. 非対称性緊張性頸反射----生後6か月
3. ランドー反射-----生後 12 か月
4. バビンスキー反射-----生後 8 か月

問7 こどもの身体の発育と機能の発達について、記載内容が適切な選択肢を選びなさい

1. カウプ指数は生後 1 か月から 5 歳までの乳幼児の発育を評価できる
2. 各免疫グロブリンが成人レベルに達するのは 3 歳頃であり、その頃から感染症への罹患が減る
3. こどもの視野は成人より狭く、6 歳の垂直方向は成人の約半分である
4. 女子の第二次性徴では、初経後に乳房の発育や陰毛発生が開始する

問8 次の月年齢の一般的発達で、不適切な組み合わせはどれか

1. 生後 3～4 か月-----定頸、喃語、全方向追視、社会的微笑
2. 生後 6～7 か月-----目と手の協調、分離不安、他者の発声模倣、離乳食開始
3. 1 歳 6 か月ごろ-----一人歩き、一語文、離乳食完了、嫉妬の感情が見られる
4. 3 歳頃-----手を使わず一人で階段を上る、丸を描く、ごっこ遊びが盛ん、

問9 こどもの生活行動に関連する発達について、記載内容が適切な選択肢を選びなさい

1. 4 歳頃の睡眠リズムは、多相型である
2. 離乳中期は歯茎で咀嚼できる食材を提供する
3. 生後2か月ごろに見られるクレーイングは言語能力に必要な発声の発達過程である
4. 大脳皮質への髄鞘化が進む1歳ごろにはトイレトレーニングを始める

問10 エリクソンの自我発達理論の各発達段階と発達課題について、適切な組み合わせを選びなさい

1. 乳児期-----自己信頼の獲得
2. 幼児前期-----罪悪感の克服
3. 幼児後期-----課題の克服により「希望」を得る
4. 学童期-----課題の克服により「意思力」を得る

問11 家族をアセスメントする視点について、記載内容が適切な選択肢を選びなさい

- a. 家族システム理論では、家族という集団には全体性・非累積性・恒常性・閉鎖的因果関係・組織性の5つの特性がある
- b. 学齢前期のこどもをもつ家族の発達課題には、こどもの社会化や親子関係の変化への適応と再調整があげられる
- c. こどもの疾病により母親と病児のサブシステムが母親と他の家族成員間のサブシステムより強固になった場合、家族内での孤立が生じるリスクが高い
- d. 家族がもつ力をアセスメントし、家族に不足していることを医療者が補うことで健康的な生活が実現できることをエンパワメントという

1. a, b 2. b, c 3. b, c 4. a, d

問12 発達段階別の遊びの特徴について、記載内容が適切な選択肢を選びなさい

1. 幼児期から見られるようになる構成遊びは、あるものを他のもので表すなどの方法を使ったごっこ遊びや見立て遊びのことである
2. 連合遊びは、幼児後期以降に他のこどもとやり取りするなど集団で組織立った遊びをすることである
3. 受容遊びとは主に乳児早期に見られ、周囲の働きかけに受け身的に遊ぶことである
4. 傍観遊びとは他のこどもが遊ぶ様子を見て楽しむ遊びで、2歳頃によくみられる

問13 病気や障害がこどもにわかったときの、親の心理的反応としてドローター (Drotar,D.) の考え方がある。次の文章で記載内容が適切な選択肢を選びなさい。

- a. 特に先天奇形のあるこどもが誕生した時の両親の心理的反応の経過を示したもので、ショック、否認、悲しみと怒り、適応、再起の5段階で示している
- b. 適応の段階では、情動的な混乱は無くなり、こどもの世話に自信をもつようになる
- c. 再起の段階では、家族はこどもの問題に対する責任に対処できるようになる時期であり、どの親も行きつく過程である
- d. 親の心理的反応の強さはそれぞれの段階によって異なる

1. a, d 2. a, c 3. b, d 4. c, d

問14 児童虐待について、記載内容が不適切な選択肢を選びなさい

- a. 虐待を判断する時には、その行為を親が虐待を意図していたかを考慮する
- b. ネグレクトには、こどもが他の家族から暴力を振るわれていることを黙認することが含まれる
- c. 虐待による長期的な影響は心理面が主であり、身体的・経済的なものはまれである
- d. 虐待を受けたこどもの発育不全では、のこぎりの歯のようなぎざぎざした発育曲線となることがある

1. a, b 2. a, c 3. b, c 4. c, d

問15 こどもに関連する法律で不適切な組み合わせを選びなさい

- 1. 母子保健法-----1歳6か月児健診
- 2. 児童福祉法-----養育支援訪問事業
- 3. 学校保健法-----幼稚園の園児の定期健康診断
- 4. 児童虐待等の防止に関する法律-----児童相談所の設置

問16 市町村における子育て支援施策および母子保健施策について、記載内容が適切な選択肢を選びなさい

1. 乳児家庭全戸訪問事業は乳児家庭の孤立を防ぐことを目的に、生後8か月を迎えるまでの乳児のいるすべての家庭を訪問することである
2. 未熟児養育医療では出生時体重が1500g以下の乳児または生活力が特に弱い乳児の入院養育に対して必要な医療の費用が一部公費負担される
3. 家庭的保育事業は居宅等で保育する事業であり、保育士資格を有する者のみ訪問ができる
4. 養育支援訪問事業は虐待リスクなどがあり、養育支援が必要と判断された家庭へ指導・助言を行うことであり、保健師、助産師、保育士等が実施可能である

問17 こども家庭支援センターについて、記載内容が適切な選択肢を選びなさい

1. こども家庭センターは児童福祉機能を担い、母子保健機能は含まれない
2. こども家庭支援センターは虐待についてポピュレーションアプローチを主としており、ハイリスクアプローチは児童相談所が担うため行わない
3. こども家庭支援センターの設置は都道府県の努力義務である
4. こども家庭支援センターの設置は児童福祉法に明記されている

問18 こどものヘルスプロモーションについて、記載内容が適切な選択肢を選びなさい

1. こどもの健康を決定づけるのは環境であり、親・家族の育児に関する知識や技術を高めることは重視しない
2. 世界保健機構は健康を「病気や虚弱でないというだけでなく、身体的、精神的及び社会的に完全に良好な状態である」と定義している
3. 医療的ケア児や障害児は自らの健康をコントロールすることはできないため、大人がすべてコントロールすることが必要である
4. こどもが生きる目的として健康を位置付けている

問19 小児プライマリケアを取り巻く環境について、記載内容が適切な選択肢を選びなさい

1. 2023 年の合計特殊出生率 1.20 であり、過去2番目に低い
2. 周産期死亡とは、妊娠 22 週以降の死産及び早期新生児死亡を併せた数であり、我が国は先進国の中でも低い
3. 直近の5年間で特別支援学校に在籍する医療的ケア児の数は約 1.5 倍に増加している
4. 日本のこどもの貧困率は 11.5% (2021 年) であり、年々高まっている

問20 児童の健康に関する現状について、記載内容が適切な選択肢を選びなさい

1. 2022 年度の学校保健統計によると、高校生の約 7 割が裸眼視力 1.0 未満である
2. 2022 年度の学校保健統計によると、8 歳以降の肥満の割合は 1 割を超え、女児の方が多い
3. 日本学校保健会による 2022 年調査では、喘息をもつ児童は 10 年前に比べ増加している
4. 日本学校保健会による 2022 年調査では、食物アレルギーをもつ児童は 10 年前に比べ増加しているが、アナフィラキシーの既往がある児童は減少している

問21 出生後に動脈管の自然閉鎖に関連する因子を選びなさい

1. 血中のプロスタグランジン E 濃度の上昇
2. 血中の酸素分圧の上昇
3. 左心房圧の上昇
4. 肺血管抵抗の上昇
5. 肺動脈圧の上昇

問22 乳児の呼吸機能の特徴について、記載内容が適切な選択肢を選びなさい

- a. 生後4～5か月ごろまでは鼻呼吸が優位であり、鼻腔の閉塞により呼吸が障害される
- b. 肋骨が水平であり、胸郭の断面は円筒状であるため胸郭の収縮効率が悪い
- c. 乳児の肺胞数は成人と同数であり、肺胞表面積が小さいことから1回換気量が少ない
- d. 肺のコンプライアンスは低く、呼吸仕事量は成人よりも小さい

1. a, b 2. a, c 3. b, d 4. c, d

問23 身体計測及びバイタルサイン測定について、記載内容が適切な選択肢を選びなさい

- a. 仰臥位での身長測定時には、こどもの耳孔と鼻を結んだ線が台板と垂直になるように固定する
- b. 胸囲は乳頭直上部と肩甲骨直上部を確認し、呼気終了時のタイミングを測定する
- c. 聴診器による心拍測定では、音が確認しやすい大動脈弁領域で聴診することが多い
- d. 鼓膜温の測定は耳介を後方上に引っ張り、外耳道を一直線にしてプローブを耳に入れる
- e. 血圧測定の際に、測定部位が心臓より高いと収縮期血圧が低下するが、拡張期血圧は変わらない

1. a, c 2. b, c 3. b, d 4. a, d 5. c, e

問24 こどもの消化器の特徴と機能について、記載内容が不適切な選択肢を選びなさい

- 1. 乳児は胃底の形成が未熟であり、溢乳や吐乳しやすい
- 2. 生後5～6か月頃までは乳児嚥下であり、乳汁が口腔に入ると舌と軟口蓋が離れ嚥下する
- 3. 母乳中には脂肪を分解するアミラーゼが含まれ、乳児の未熟な消化吸収を補っている
- 4. 母乳中の乳糖分解に必要なラクターゼ活性は、満期産出生時に最高に達する

【以下事例を読み、問 25, 26 に答えなさい】

B くん、1 歳 6 か月男児。これまでの健康歴に問題はない。B 君は 2 日前より鼻汁と咳嗽を認め、本日の朝方より 38.0 度の発熱、機嫌も悪く、ヒューヒューと呼吸が苦しそうと母親が受診に連れてきた。来院時の体温 38.5 度、心拍数 135 回/分、呼吸数 30 回/分、SpO₂96% であり、肋骨弓下と肋間の軽度陥没呼吸・吸気性喘鳴を認めた。

問25 B 君の呼吸状態から考えられることを以下より選びなさい

1. 下気道の閉塞
2. 中枢性の呼吸調節障害
3. 上気道の狭窄
4. 肺胞内の分泌物の貯留

問26 B くんの特異体質に必要な追加情報の中で、優先度が低い選択肢を選びなさい

1. アレルギーの有無
2. 家族構成
3. 最後に食事をした時間
4. 既往歴
5. 出生歴

問27 こどもの予防接種について記載内容が適切な選択肢を選びなさい

1. ロタウイルスワクチンは生後 15 週以降から接種を開始する
2. 5 種混合ワクチンには、肺炎球菌ワクチンが含まれる
3. ヒトパピローマウイルスワクチンは任意接種である
4. BCG の投与方法は皮内投与である

問28 嘔吐下痢症における経口補水療法とそのホームケア指導について、記載内容が適切な選択肢を選びなさい

1. 初期治療として、50～100ml/kg の経口補水液を 3～4 時間かけて補正する
2. 経口補水液を嫌がる場合、果汁を混ぜると飲みやすくなることをケアする家族へ情報提供する
3. 症状が持続しているときの経口補水液は、1 回にコップ半分程度を飲ませるようケアする家族へ伝える
4. 嘔吐した場合には、経口補水療法は中止し、2～3 時間は飲ませないようにケアする家族へ指導する

問29 こどもの死因について、記載内容が適切な選択肢の組み合わせを選びなさい

- a. 令和 5 年の人口動態統計では、学童期（5～9 歳）の死因の第二位は不慮の事故である
 - b. 0 歳児の不慮の事故による死因で最も多いのは、食べ物による窒息である
 - c. 学童期（5～9 歳）の不慮の事故の死亡で最も多いのは、交通事故である
 - d. 溺水による死亡の約 45%は浴室で発生している
 - e. 令和 5 年の人口動態統計では、0 歳の死因の第 2 位は乳幼児突然死症候群である
1. a,b 2.a,d 3. b,e 4. c,d 5. c, e

問30 小児の救急医療におけるトリアージの目的で記載内容が不適切な選択肢を選びなさい

1. 生命を脅かす病態にある患者を迅速に見極める
2. 現時点の問題から臨床推論を行い、診断を行う
3. 適切な加療場所へ誘導する
4. 診察を待っているこどもの再評価と必要な看護介入の実践をする

問31 JRC 蘇生ガイドライン(2020)が示す小児一次救命処置について、記載内容が適切な組み合わせを選びなさい

- a. 幼児の脈拍の確認は頸動脈で行う
- b. 救助者が一人の場合、胸骨圧迫と換気を 15:2 で実施する
- c. 胸骨圧迫は胸の厚さ 1/3 の深さで押す
- d. 呼吸・脈拍の確認は 15 秒以内で行う
- e. AED の小さいサイズのパッドは、10 歳未満を目安として使用する

1. a, c 2. a, d 3. b, c 4. b, e 5. c, d 6. d, e

問32 家族のセルフケア能力について、記載内容が適切な選択肢を選びなさい

- 1. 家族のセルフケアは、情緒的結びつきを基盤とし、家族成員が持てる力を発揮して、家族成員それぞれに、あるいは家族全体として互いに補い合いながら行われる
- 2. 慢性的な健康問題をもつこどもの家族と、看護師は階層的な援助関係を結ぶことで、家族が持つセルフケア能力が発揮される
- 3. 家族のセルフケア能力のアセスメントでは、家族システム全体からのみ捉え、家族成員一人ひとりには捉える必要はない
- 4. 家族内に健康問題が生じているときには、生活様式などの変容が必要であり、家族全体で新たな生活様式とその価値を受けて入れていけるよう指導をしていく

問33 2021 年に施行された「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」について、記載内容が適切な選択肢を選びなさい

- 1. 医療的ケアを必要とする 18 歳以上の高校生等も対象に含まれる
- 2. 医療的ケアを必要としなくなった時点で、支援の対象から外れる
- 3. 保育所における医療的ケアの支援は、保育所の設置者の努力義務である
- 4. 医療的ケア児等支援センターには、医療的ケア児等コーディネーターの配置が必須である

問34 胃ろうの管理について、記載内容が適切な選択肢を選びなさい

1. バルーンタイプ、バンパータイプともに入れ替え時の苦痛は少ない
2. 幽門部近くに造設すると、ダンピング症候群が起きやすくなる
3. 計画外抜去時でも瘻孔は開存状態を維持しやすい
4. バルーンタイプの胃ろうの場合、小児はバルーン破損が少ない

問35 吸引の手技について、記載内容が適切な選択肢を選びなさい

1. 小児の気管内吸引の吸引時間は1回につき5～10秒以内が望ましい
2. 鼻腔吸引では、鼻中隔の後方部にあるキーゼルバツハ部位を刺激すると鼻出血する危険があるため、挿入時に注意をする
3. 気管内吸引では気管分岐部にあたるまで吸引チューブを挿入する
4. 気管内吸引のカテーテルのサイズは気管チューブ内径の3分の1以下が推奨されている

【以下の事例を読み、問 36, 37 に答えなさい】

C くんは在胎 36 週で出生した。出生後に先天性心疾患を診断され、日齢2日目に姑息手術を受けた。姑息術後、生後 2 か月ごろに状態は安定し、退院可能となった。体重増加を待ち、1 歳ごろに根治術をする予定である。

経口哺乳による疲労が見られたため、経鼻経管栄養を併用することとなった。また、肺高血圧症に対して、在宅酸素療法が導入される。家族は両親のみであり、父親は仕事で多忙である。母方・父方祖父母は遠方であり、サポートが難しい。母親は「鼻にチューブがあるまま帰るとは思ってもいなかった。自分で扱えるのか心配」と不安を表出している。

問36 C 君とその家族への支援として、記載内容が不適切な選択肢を選びなさい

1. 母親へ「酸素療法や経鼻経管栄養は医療的ケアとして軽いので、心配しなくて大丈夫」伝える
2. 家族の生活パターンを把握したうえで注入回数や時間帯を検討し、入院中から変更をしていく
3. 訪問看護の導入が可能であり、家族へ導入についての意向を確認する
4. 自宅での注入方法、酸素の置き場などについて、家族と検討する

問37 C 君が自宅に帰ることになった場合、必要な災害対策について記載内容が適切な選択肢を選びなさい

1. 在宅で使用する液体酸素は電源が必要なため、停電時はすぐに酸素ボンベに切り替える
2. 災害に備え、薬は1週間分程度を確保しておく
3. 家族内サポートが少ないため、災害時には自助・互助よりも、共助・公助に頼るようにする
4. 乳児であることから、災害時の個別避難計画作成の対象とならない

問38 医療的ケア児に適応できる障害福祉サービスについて、記載内容が適切な選択肢を選びなさい

- a. 介護保険の申請が可能である
- b. 医療型児童発達支援では日常生活における支援は行うが治療は行わない
- c. 相談支援専門員は本人(家族)の依頼に基づいてサービス利用計画書を作成する
- d. 幼稚園生は放課後等デイサービスを利用できない
- e. 障害児通所支援に保育所等訪問支援は含まれない

1. a, b 2. b, d 3. c, d 4. c, e 5. d, e

問39 医療的ケア児が在籍する特別支援学校の学校看護師について、記載内容が不適切な選択肢を選びなさい

- 1. 必要時個々の医師からの指示書に基づき、医療的ケアのマニュアルの作成を行う
- 2. 認定特定行為業務従事者である教職員への指導・助言を行う
- 3. 気管カニューレの計画外抜去があった場合、特定行為研修を修了していない看護師であっても再挿入が可能である
- 4. 緊急時のグルカゴン点鼻粉末は、医師の指示書に基づき看護師のみが投与が可能である

問40 以下の事例を読み、適切な選択肢を選びなさい

常位胎盤早期剥離により重症新生児仮死、低酸素性虚血脳症で出生した D ちゃん。生後 7 か月で自宅へ退院し、現在 1 歳6か月である。自発呼吸は弱く、気管切開を行い人工呼吸器管理、嚥下不能なため経鼻経管栄養を行っている。体動は刺激による四肢体幹の筋緊張の亢進のみである。

D ちゃんが制度上利用できる社会資源について適切なものはどれか

- a. 児童発達支援
- b. 訪問看護
- c. 放課後等デイサービス
- d. 医療型短期入所
- e. 保育所

1. a, b 2. a, b, d 3. b, c, d, e 4. a, b, d, e 5. b, d, e

問 41 以下の事例を読み、外来受診時のまなちゃんと家族について、発達も踏まえたアセスメントを記述し、支援が必要な課題を記述しなさい

まなちゃんは1歳6か月の女児で、これまでの健康歴に問題はない。昨夕より発熱と嘔吐を認め、朝になっても嘔吐が続き、昨日から排尿がないことを母親が心配し、朝9:00に外来を受診した。問診時のバイタルサインは体温38.5度、呼吸回数30回/分、脈拍140回/分、血圧92/65mmHg、毛細血管再充満時間2秒、末梢はやや冷たい。母親に抱かれ閉眼しているが、言葉をかけると開眼する。医療者と目が合うと目線をそらし、母親の胸に顔をうずめる。母親は「いつもは人見知りで激しく泣くんですけど、今日はあんまり泣かないです」「昨日の夜から何にも食べてなくて、すごく心配です。でも飲ませるのは飲ませなきゃと思ってお茶はこまめに飲ませていました」と話した。

まなちゃんの家族は、両親と姉二人（小学校1年生、保育園年中）であり、両親はともに働いている。

2026 年度

済生会横浜市東部病院人材開発センター

認定看護師教育課程 小児プライマリケア分野

専門科目

《問題用紙》

2025 年 10 月 25 日（土）

9 : 30～11 : 00（90 分）

問題用紙のページ数を確認してください

・問題用紙 12 ページ

※受験番号を表紙の右上に記入してください

※試験終了後、問題用紙は全て回収いたします

解答はすべて解答用紙に記入してください

問1 「児童の権利に関する条約（子どもの権利条約）」について、記載内容が適切な選択肢を選びなさい

- a. 批准した国は、こどもの権利を保障する努力は求められるが、義務ではない
- b. こどもは権利を享受し行使する主体者である
- c. こどもが自らの意見を表明することはこどもの義務である
- d. 批准した国のこどもに対してのみ、権利を保障することが明記されている
- e. 条約におけるこどもとは18歳未満のこどもである

1. a, b 2. a, c 3. b, d 4. b, e 5. c, e

問2 医療を受けるこどもの意思決定について、記載内容が適切な選択肢を選びなさい

- 1. インフォームドアセントは、インフォームドコンセントと同様に法的な強制力を持つ
- 2. インフォームドコンセントの対象者は、説明を理解する能力、選択する能力、決定する能力、決定に対して責任をとる能力の4つの能力が備わっていることが条件である
- 3. インフォームドアセントは、言葉による説明が理解できる年齢から実施が可能である
- 4. インフォームドアセントは、自分になされる行為について理解できるように説明され、同意することである

問3 プレパレーションのステップについて、適切な選択肢を選びなさい

- 1. まず最初に、こどもに行われる処置を踏まえ、プレパレーションを計画する
- 2. プレパレーションの計画では、こどもへ誰が説明するか、説明する内容、いつ・どこで説明するか、親の同席などについて、医療者のみで計画をする
- 3. 第4段階のディストラクションの目的の一つに痛みを緩和させることがある
- 4. 第5段階の処置後の遊びは、こどもができたことのみに焦点を当て、できなかったことには触れない

問4 倫理原則について、適切な説明の組み合わせを選びなさい

1. 自律……………他者に依存せず、自分のことを行えること
2. 正義……………真実を告げ、うそを言わないこと
3. 善行……………危害を及ぼさないこと
4. 忠誠……………約束を守ったり秘密を守ること

問5 ピアジェの認知発達理論について、記載内容が適切な選択肢を選びなさい

- a. 感覚運動位相は、目の前にあるものに触れたり、握る/離すなど具体的で実験的な活動を行い、それらを繰り返すことで周囲の認識を深めていく発達段階である
- b. 植物や自分の大事なぬいぐるみなどすべての物には命があり、動くことができるという感覚で思考するのは前操作位相の前概念位相における特徴である
- c. 多くの物事がそれによって説明できるという法則や論理などを使って、演繹的に推理をすることで認識していくのは、具体的操作位相である
- d. 形式的操作位相では、直接的な物理的環境の依存から抜け出し、物事を全体としてみることができるようになるが、言葉を使った思考はまだ十分ではない
- e. 前操作位相の直観的位相では、同じ量の液体を形の異なる容器に移し替えてもその量は変わらないという数と液量の保存の概念を獲得する

1. a, b 2. a, d 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問6 こどもの身体の発育と機能の発達について、記載内容が適切な選択肢を選びなさい

1. カウプ指数が使用できない生後3か月未満のこどもの発育は、成長曲線のみで判断する
2. 各免疫グロブリンが成人レベルに達するのは3歳頃であり、感染症への罹患が減る
3. 生後4か月ごろには、正中線を超えた追視が可能になる
4. 乳児期の胸郭は円柱状で前後径・左右径がほぼ等しい

問7 乳幼児の原始反射・姿勢反射について、適切な組み合わせを選びなさい

1. 非対称性緊張性頸反射-----生後4か月ごろに消失
2. パラシュート反射-----5歳ごろ消失
3. 足踏み反射-----生後6か月ごろ出現
4. ランドー反射-----出生時より観察可能

問8 こどもの生活行動に関連する発達について、記載内容が適切な選択肢を選びなさい

1. 4歳頃の睡眠リズムは、多相型である
2. 離乳中期は歯茎で咀嚼できる食材を提供する
3. 生後2か月ごろに見られるクレーイングは言語能力に必要な発声の発達過程である
4. 大脳皮質への髄鞘化が進む1歳ごろにはトイレトレーニングを始める

問9 ボウルビイの愛着理論について適切な選択肢を選びなさい

1. 新生児は、出生直後から母親は分別することができる
2. 3歳ごろから、母性的な人物の態度などを見て目的や意図を察することができる
3. 母子分離された乳児は、初期は非活動的になり、泣き声が単調になるなど絶望の反応が見られる
4. 母子分離における脱愛着の反応では、母親が会いに来ると怒りを表現する

問10 ブリッジスの情緒の分化について、記載内容が適切な選択肢を選びなさい

1. 新生児は、快・不快の分化のみである
2. 1歳半ごろより、不快が分化し、嫉妬の感情が見られる
3. 2歳ごろより、おそれが分化し不安の感情を抱くようになる
4. 5歳ごろより、嫌悪が分化し我慢の感情が見られる

問11 こどもの発達段階別の遊びの特徴について、適切な組み合わせを選びなさい

1. 受容遊び-----絵本やテレビなどを楽しむ遊びであり、2歳ごろから見られる
2. 機能遊び-----折り紙など道具を利用した遊びで、4-5歳ごろから見られる
3. 並行遊び-----同じ遊びを他者とやり取りした遊びで、3-4歳ごろから見られる
4. 傍観者的遊び---ベビーメリーなどを見つめる遊びであり、乳児期から見られる

問12 家族の発達段階とその段階の優先的な家族の発達課題について、適切な組み合わせを選びなさい。

1. 家族の誕生の段階-----二者関係から三者関係へ移行
2. 学童前期のこどもをもつ家族-----配偶者との関係の調整をし、親役割を獲得
3. 学童後期のこどもをもつ家族-----こどもの教育と子離れを学習
4. 10代のこどもをもつ家族-----こどもとの心理的絆を保ち、巣立ち後への適応

問13 児童虐待について不適切な選択肢を選びなさい

- a. 虐待を判断する時には、その行為を親が虐待を意図していたかを考慮する
- b. ネグレクトにはこどもが他の家族から暴力を振るわれていることを黙認することが含まれる
- c. 虐待による長期的な影響は心理面が主であり、身体的・経済的なものはまれである
- d. 虐待を受けたこどもの発育不全では、のこぎりの歯のようなぎざぎざした発育曲線となることがある

1. a, b 2. a, c 3. b, d 4. c, d

問14 こどもに関連する法律で適切な組み合わせを選びなさい

- 1. 医療的ケア児とその家族の支援に関する法律-----放課後等デイサービスの規程
- 2. 児童福祉法-----要保護児童対策協議会の設置
- 3. 児童虐待の防止等に関する法律-----母子生活支援施設の設置
- 4. 学校保健安全法-----学童期の定期予防接種の規程

問15 市町村における子育て支援施策および母子保健施策について、記載内容が適切な選択肢を選びなさい

- 1. 乳児家庭全戸訪問事業は乳児家庭の孤立を防ぐことを目的に、生後 8 か月を迎えるまでの乳児のいるすべての家庭を訪問することである
- 2. 未熟児養育医療では出生時体重が 1500g 以下の乳児または生活力が特に弱い乳児の入院養育に対して必要な医療の費用が一部公費負担される
- 3. 家庭的保育事業は居宅等で保育する事業であり、保育士資格を有する者のみ訪問ができる
- 4. 養育支援訪問事業は虐待リスクなどがあり養育支援が必要と判断された家庭へ指導・助言を行うことであり、保健師、助産師、保育士等が実施可能である

問16 子育てに関連した事業について、記載内容が不適切な選択肢を選びなさい

1. こども家庭センターは、児童福祉機能と母子保健機能双方の機能の一体的な運営を行う
2. こども家庭センターは、個別の相談事例への対応および、地域の関係機関間の連携など子育て支援に関する環境の整備の役割も持つ
3. こども家庭センターの設置は都道府県の努力義務である
4. こども家庭センターの設置は母子保健法に記載されている

問17 こどものヘルスプロモーションについて、記載内容が適切な選択肢を選びなさい

1. こどもの健康を決定づけるのは環境であり、親・家族の育児に関する知識や技術を高めることは重視しない
2. 世界保健機構は健康を「病気や虚弱でないというだけでなく、身体的、精神的及び社会的に完全に良好な状態である」と定義している
3. 医療的ケア児や障害児は自らの健康をコントロールすることはできないため、大人がすべてコントロールすることが必要である
4. こどもが生きる目的として健康を位置付けている

問18 小児プライマリケアを取り巻く現状について、記載内容が適切な選択肢を選びなさい

1. 低出生体重児の出生数に対する割合は直近 10 年で増加傾向である
2. 周産期死亡率とは、妊娠 22 週以降の死産及び早期新生児死亡を併せた数であり、我が国は先進国の中でも低い
3. 直近5年間で特別支援学校に在籍する医療的ケア児数は約 1.5 倍に増加している
4. 日本のこどもの貧困率は 11.5% (2021 年) であり、年々高まっている

問19 早産児及び低出生体重児について、記載内容が適切な選択肢を選びなさい

1. 超低出生体重児とは、出生時体重が 1000g 以上 1500g 未満のこどものことである
2. 後期早産児は正期産児と比較し、発達の遅れの発生率は同等である
3. Small of Gestational Age (SGA) 児とは、体重と身長どちらも在胎期間別出生時体格標準値より小さく出生したこどものことである
4. 早産児の腸は未熟であるため、栄養は静脈投与が優先される

問20 出生後に動脈管の自然閉鎖に関連する因子を選びなさい

1. 血中のプロスタグランジン E 濃度の上昇
2. 血中の酸素分圧の上昇
3. 左心房圧の上昇
4. 肺血管抵抗の上昇
5. 肺動脈圧の上昇

問21 乳児の呼吸機能の特徴について、記載内容が適切な選択肢を選びなさい

- a. 生後4～5か月頃まで鼻呼吸が優位であり、鼻腔の閉塞により呼吸が障害される
- b. 肋骨が水平のため胸郭の収縮効率が悪い
- c. 乳児の肺胞数は成人と同数であるが、肺胞表面積が小さく1回換気量が少ない
- d. 肺のコンプライアンスは低く、呼吸仕事量は成人よりも小さい

1. a, b 2. a, c 3. b, d 4. c, d

問22 乳児の体温の特徴について、不適切な選択肢を選びなさい

1. 小児は新陳代謝が盛んであり、体重当たりの相対的な熱生産が多いため成人に比べ体温が高い
2. 体温喪失を防ぐ皮下脂肪組織が少ない
3. 体温の日内変動があり、明け方が低く、起床後から午後にかけて高くなる
4. 体表面積が小さく、皮膚からの熱放散が小さい

問23 身体計測及びバイタルサイン測定について、記載内容が適切な選択肢を選びなさい

- a. 乳児の仰臥位の身長測定時には、こどもの耳孔と鼻を結んだ線が台板と垂直になるように固定する
- b. 胸囲は乳頭直上部と肩甲骨直下部を確認し、呼気終了時に測定する
- c. 聴診器による心音測定では、確認しやすい大動脈弁領域で聴診することが多い
- d. 鼓膜温の測定は耳介を後方上に引っ張り、外耳道を一直線にしてプローブを耳に入れる
- e. 血圧測定の際に、測定部位が心臓より高いと収縮期血圧が低下するが、拡張期血圧は変わらない

1. a, c 2. b, c 3. b, d 4. a, d 5. c, e

問24 こどもの消化器の特徴と機能について、記載内容が不適切な選択肢を選びなさい

1. 乳児は胃底の形成が未熟であり、溢乳や吐乳しやすい
2. 生後 5～6 か月頃までは乳児嚥下であり、乳汁が口腔に入ると舌と軟口蓋が離れ嚥下する
3. 母乳中には脂肪を分解するアミラーゼが含まれ、未熟な乳児の消化吸収を補う
4. 母乳中の乳糖分解に必要なラクターゼ活性は、満期産出生時に最高に達する

【以下事例を読み問 25 と問 26 に答えなさい】

A くん、4 歳男児。A 君は 2 日前より鼻汁と咳嗽を認め、本日の朝方より咳がひどくなったと母親が受診に連れてきた。来院時の体温 37.3 度、心拍数 130 回/分、呼吸数 30 回/分 SpO₂96%であり、胸骨上と鎖骨上に陥没呼吸をみとめ、聴診では呼気性喘鳴、呼気延長が聴取された。

問25 A くんの呼吸状態から考えうることを以下より選びなさい

1. 下気道の閉塞
2. 中枢性の呼吸調節障害
3. 上気道の狭窄
4. 肺胞内の分泌物の貯留

問26 トリアージをした看護師の A くんへの対応について、適切な記載内容を選びなさい

1. 診察までの時間が 45 分以上あることを B くと家族へ説明をした
2. 末梢静脈カテーテルの挿入を予測し、待合室でプレパレーションを行った
3. 処置が行える部屋にB君を移動させ、酸素投与やモニタリングの準備を行う
4. 感染症の可能性が高いため、陰圧室に隔離した

問27 こどもの予防接種について適切な選択肢を選びなさい

1. ロタウイルスワクチンは生後 15 週以降から接種を開始する
2. 5 種混合ワクチンには、肺炎球菌ワクチンが含まれる
3. ヒトパピローマウイルスワクチンは定期接種である
4. BCG の投与方法は皮下投与である

問28 嘔吐下痢症における経口補水療法とそのホームケア指導について、記載内容が適切な選択肢を選びなさい

1. 初期治療として、50-100ml/kg の経口補水液を 3-4 時間かけて補正する
2. 経口補水液を嫌がる時は、果汁を混ぜて飲みやすくするとよいことを指導する
3. 経口補水療法を開始時は、1 回にコップ半分程度のみを飲ませるよう指導する
4. 嘔吐した場合には、経口補水療法は中止し、2~3時間は飲ませないように指導する

問29 こどもの死因について適切な選択肢の組み合わせを選びなさい

- a. 2024 年の人口動態統計では、1-4 歳の死因の第 1 位は不慮の事故である
- b. 2024 年の人口動態統計では、10-14 歳の死因の第 1 位は自殺である
- c. 5-9 歳の溺水は、自宅の浴槽よりも川や海などの自然水域の方が多い
- d. 0 歳児の不慮の事故による死因で最も多いのは、食べ物による窒息である
- e. 1-4 歳の不慮の事故の死亡で最も多いのは、建物からの転落である

1. a,b 2. a,d 3. b,c 4. c,d 5. c, e

問30 小児救急医療におけるトリアージの緊急度判断について適切な選択肢を選びなさい

1. 緊急度判断は、治療開始の優先度を決定するものである
2. 緊急度判断において経験や直感は重視しない
3. PAT 評価は外観、呼吸、神経の 3 つの要素を迅速かつ系統的に評価する
4. 今すぐ治療、処置が必要と判断された時点から ABCDE アプローチを開始する

問31 JRC 蘇生ガイドライン (2020) が示す小児一次救命処置について、記載内容が適切な組み合わせを選びなさい

- a. 幼児の脈拍の確認は頸動脈もしくは大腿動脈で行う
- b. 救助者が一人の場合、胸骨圧迫と換気を 15:2 で実施する
- c. 胸骨圧迫は胸の厚さ 1/3 の深さで押す
- d. 呼吸・脈拍の確認は 15 秒以内で行う
- e. AED の小さいサイズのパッドは、10 歳未満を目安として使用する

1. a, c 2. a, d 3. b, c 4. b, e 5. c, d 6. d, e

問32 家族のセルフケア能力へのアプローチについて適切な選択肢を選びなさい

1. 家族のセルフケアは、情緒的体制を基盤とし、家族成員が持てる力を発揮しながら、個々・家族全体として互いに補い合いながら行われる
2. 慢性的な健康問題をもつこどもの家族に対しては、看護師は家族と階層的な援助関係を結ぶことで家族が持つセルフケア能力が発揮される
3. 家族のセルフケア能力のアセスメントでは、家族成員個々ではなく家族システム全体から捉え、アプローチの方向を定めていく
4. 家族内に健康問題が生じているときには、生活様式などの変容が必要であり、家族全体で新たな生活様式とその価値を受けて入れていけるよう指導をしていく

問33 令和 3 年に施行された「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」について適切な選択肢を選びなさい

1. 医療的ケアを必要とする 18 歳以上の高校生等も対象に含まれる
2. 医療的ケアを必要としなくなった時点で、支援の対象から外れる
3. 保育所における医療的ケアの支援は、保育所の設置者の努力義務である
4. 医療的ケア児等支援センターには、医療的ケア児等コーディネーターの配置が必須である

問34 胃ろうの管理について適切な選択肢を選びなさい

1. 幽門部近くに造設すると、ダンピング症候群が起きやすくなる
2. バンパータイプは、1か月間隔で交換が必要である
3. ボールバルブシンドロームは、チューブ型よりボタン型の方が生じやすい
4. 計画外抜去時でも瘻孔は開存状態を維持しやすい

問35 吸引の手技について適切な選択肢を選びなさい

1. 小児の気管内吸引の吸引時間は 1 回につき 5～10 秒以内が望ましい。
2. 鼻腔吸引では、鼻中隔の後方部にあるキーゼルバツハ部位を刺激すると鼻出血する危険があるため、挿入時に注意をする
3. 気管内吸引では気管分岐部にあたるまで吸引チューブを挿入する
4. 気管内吸引のカテーテルのサイズは気管チューブ内径の 3 分の 1 以下が推奨されている

問36 在宅酸素や在宅人工呼吸器を必要とするこどもの災害対策について適切な選択肢を選びなさい

1. 在宅で使用する液体酸素は電源が必要なため、停電時はすぐに酸素ボンベに切り替える
2. 災害に備え、薬は7～10日分確保しておく
3. 家族内のサポートでは不十分なため、災害時には自助・互助よりも、共助・公助に頼るようになる
4. こどもは、災害時の個別避難計画作成の対象とならない

問37 医療的ケア児に適応される障害福祉サービスのうち、記載内容が適切な選択肢を選びなさい

- a. 介護保険の申請が可能である
- b. 医療型児童発達支援では日常生活の支援は行うが治療は行わない
- c. 相談支援専門員は本人（家族）の依頼に基づいてサービス利用計画書を作成する
- d. 幼稚園児は放課後等デイサービスを利用できない
- e. 障害児通所支援に保育所等訪問支援は含まれない

1. a, b 2. b, d 3. c, d 4. c, e 5. d, e

問38 医療的ケア児が在籍する特別支援学校の学校看護師について、記載内容が不適切な選択肢を選びなさい

1. 必要時個々の医師からの指示書に基づき、医療的ケアのマニュアルの作成を行う
2. 認定特定行為業務従事者である教職員への指導・助言を行う
3. 気管カニューレの計画外抜去があった場合、特定行為研修を修了していない看護師であっても再挿入が可能である
4. 緊急時のグルカゴン点鼻粉末は、医師の指示書に基づき看護師のみ投与が可能である

問39 以下の事例を読み、Aちゃんが制度上利用できる社会資源の適切な組み合わせを選びなさい

常位胎盤早期剥離により重症新生児仮死、低酸素性虚血脳症で出生した。生後7か月で自宅へ退院し、現在1歳6か月である。自発呼吸は弱く、気管切開を行い人工呼吸器管理、嚥下不能のため経鼻経管栄養を行っている。体動は刺激による四肢体幹の筋緊張の亢進のみである。

- a. 児童発達支援
- b. 訪問看護
- c. 放課後等デイサービス
- d. 医療型短期入所
- e. 保育所

1. a, b 2. a, b, d 3. b, c, d, e 4. a, b, d, e 5. b, d, e

問40 以下の事例を読み、Cくんの病態を含めた身体的アセスメントを記述しなさい

重症心身障害児のCくんは10歳であり、在宅療養している。使用しているデバイスは胃ろうである。内服薬は抗てんかん薬と緩下剤である。便秘をしやすく1日排便がない時には浣腸をしている。

受診当日の午前中から「嘔吐が続いている」と母親から17:00に連絡を受け、訪問看護師であるあなたは訪問した。

Cくんの身体所見

体温 38.5 度、脈拍数 120 回/分、呼吸数 30 回/分、SpO₂ 97%、

血圧 85/50mmHg、毛細血管再充満時間=3 秒、末梢冷感軽度あり、呼吸音異常なし

腹部は硬く、腸蠕動音は聴取されなかった

母親からの情報

「いつもより緊張も強く、唸っていて心配です。朝から何度も吐いていて、胃残も多くて緑色です。おなかも張っているから浣腸もしたのですが何も出なかったです」

「おしっこがお昼頃出してから、出ていないです。昼のおしっこはいつもより濃かった」

問41 以下の事例を読み、1)～3)に答えなさい

3歳のたろうくんが、11:00に「嘔吐」を主訴に受診した。これまでの健康歴に問題は無い。昨夕に夕飯を食べ嘔吐、朝食後も嘔吐したため、受診に至った。たろうくんのバイタルサインは、体温 37.8 度、脈拍数 128 回/分、呼吸回数 25 回/分、血圧 95/50mmHg であった。毛細血管再充満時間は 2 秒、末梢は軽度冷たさがある。たろうくんは、待合室で母親によりかかり、座っていた。医療者が近づくと「こわい、いやだ」「ちっくんしない？」と静かに流涙する。バイタルサイン測定では、聴診器や血圧計に触れてもらったり、母親の腕に血圧計を巻き実際に見せることで、自ら腕を出すことができた。母親は、「昨日の夜は食べたんですが、全部吐いちゃいました。そのあとも水は飲ませたんですが、あまり飲みたがらなくて。朝起きてから水を少し飲ませたら、吐かずに済んだので、ヨーグルトを食べさせたらまた吐いてしまいました。おしっこは今日の朝出ていますが、少しだけでした。なんかぐったりしていたので心配で」と話した。

- 1) たろうくんの身体的なアセスメントを記述しなさい
- 2) たろうくんの認知的・社会的発達のアセスメントを記述しなさい
- 3) たろうくんと家族へ診察後に必要な看護をについて、記述しなさい